

文化のバトンをつなぐためには!

— 最新動向からみる文化ボランティアの現状と課題 —

柴田英杞

文化ボランティアの位置づけは？

- ◆2001年 文化芸術振興基本法制定
- ◆2002年 第1次基本方針において、「文化ボランティア」が明記
- ◆2003年 文化庁官房政策課に、「文化ボランティア専門官」が配置
- ◆2006年～2008年 文化ボランティア全国フォーラム開催(埼玉・東京・弘前)
- ◆2015年 第4次基本方針において、地域文化活動の担い手として文化ボランティアが明記
- ◆2016年 緊急提言「文化芸術立国の実現を加速する文化政策」において、文化ボランティアの育成及び確保に向けた取組の強化が明記
- ◆2017年 新しい文化芸術基本法の成立を受け、第1期文化芸術推進基本計画に文化ボランティアの内容を盛り込まれる予定

ボランティア活動の状況①

ー 平成27年度社会教育調査より ー

区分	公民館	図書館	博物館	博物館類似施設	青少年教育施設	劇場,音楽堂等
平成14年度	256,645	59,357	22,422	40,251	15,923	25,965
平成17年度	289,712	70,776	27,607	49,136	16,929	22,565
平成20年度	249,604	98,431	29,602	45,986	22,763	29,418
平成23年度	191,185	112,085	33,957	38,015	23,180	27,031
平成27年度	170,105	95,949	37,942	39,497	24,774	17,249
女性登録者 平成23年度	126,802 66.3%	96,232 85.9%	20,215 59.5%	18,126 47.7%	13,115 56.8%	16,883 62.5%
女性登録者 平成27年度	108,857 64.0%	87,326 91%	21,711 57.2%	18,800 47.6%	14,538 58.7%	11,715 67.9%

ボランティア活動の状況②

◆平成27年度社会教育調査によるボランティア登録者数(文部科学省)

総数51万人(うち女性33万人) 公民館17万人 図書館9万6千人 社会体育施設7万9千人の順

◆平成18年度文化ボランティア実態調査(文化庁)による文化ボランティアの若年層割合

20歳未満 男性3%女性4% 20歳～29歳 男性11%女性14%

◆平成27年度寄付白書2015によるボランティア活動者の若年層割合

20歳代 男性17%女性18% 30歳代 男性22%女性22%

◆平成27年度寄付白書2015による学校教育の中での社会貢献の経験

ベルマーク集め、赤い羽根共同募金、授業で寄付を学ぶ、福祉施設への訪問など、学校教育における社会貢献活動の経験が、成人になってからの寄付活動やボランティア活動に繋がっている

文化のバトンをつなぐためには!

◆出合いの場づくり

- ・文化活動拠点でのボランティア活動の活性化を再検討する
- ・学校教育の中での社会貢献活動の実践を考える
- ・新しいボランティアニーズを発見する
- ・特定の目的に特化したボランティア活動にシフトする
例えば、福祉、教育、医療、まちづくりなどとの連携
- ・若者との橋渡し役・世話役(コーディネーター人材)を発掘する